

令和三年秋田県議会第二回定例会会議録

第六号

議事日程第六号

令和三年十月十八日（月曜日）

午前十一時三十分開議

- 第一、議席の一部変更の件
- 第二、議席の指定
- 第三、常任委員選任の件
- 第四、知事の説明
- 第五、決算特別委員会設置の件

日程第一から日程第五まで議事日程に同じ

追加、決算特別委員会への議案付託の件

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

午前十一時三十分開議

本日の出席議員 四十三名

| | | | |
|------|-------|------|--------|
| 一 番 | 小野一彦 | 二 番 | 松田豊臣 |
| 三 番 | 鳥井修 | 四 番 | 高橋豪 |
| 五 番 | 瓜生望 | 六 番 | 島田薫 |
| 七 番 | 宇佐見康人 | 八 番 | 住谷達 |
| 九 番 | 薄井司 | 十 番 | 加賀屋千鶴子 |
| 十一 番 | 吉方清彦 | 十二 番 | 児玉政明 |
| 十三 番 | 小山緑郎 | 十四 番 | 鈴木真実 |

| | | | |
|------|-------|------|-------|
| 十五番 | 佐々木雄太 | 十六番 | 杉本俊比古 |
| 十七番 | 加藤麻里 | 十八番 | 小原正晃 |
| 十九番 | 佐藤正一郎 | 二十番 | 三浦茂人 |
| 二十一番 | 鈴木健太 | 二十二番 | 佐藤信喜 |
| 二十三番 | 今川雄策 | 二十四番 | 高橋武浩 |
| 二十五番 | 北林文正 | 二十六番 | 竹下博英 |
| 二十七番 | 石川ひとみ | 二十八番 | 石田寛 |
| 二十九番 | 東海林洋 | 三十番 | 渡部英治 |
| 三十一番 | 原幸子 | 三十二番 | 工藤嘉範 |
| 三十三番 | 近藤健一郎 | 三十四番 | 加藤鉦一 |
| 三十五番 | 佐藤賢一郎 | 三十六番 | 小松隆明 |
| 三十七番 | 三浦英一 | 三十八番 | 土谷勝悦 |
| 三十九番 | 鈴木洋一 | 四十番 | 柴田正敏 |
| 四十一番 | 川口一 | 四十二番 | 鶴田有司 |
| 四十三番 | 北林康司 | | |

（各議員の議席番号は、議席の変更後を記載）

地方自治法第二百一十一条による出席者

| | |
|-------------|-------|
| 知事 | 佐竹敬久 |
| 副知事 | 神部秀行 |
| 副知事 | 猿田和三 |
| 理事 | 陶山さなえ |
| 総務部長 | 松本欣也 |
| 総務部 | |
| 総務部危機管理監（兼） | |
| 広報 | 土田元 |

| | |
|------------------|-------|
| 企画振興部長 | 鶴田嘉裕 |
| あきた未来創造部長 | 小野正則 |
| 観光文化スポーツ部長 | 嘉藤正和 |
| 健康福祉部長 | 佐々木 薫 |
| 生活環境部長 | 柳田高人 |
| 農林水産部長 | 佐藤幸盛 |
| 産業労働部長 | 佐藤 徹 |
| 建設部長 | 佐藤秀治 |
| 会計管理者(兼) 出納局長 | 奈良 聡 |
| 財政課長 | 村田詠吾 |
| 教育委員会教育長 | 安田浩幸 |
| 警察本部長 | 久田 誠 |

●議長（柴田正敏議員） これより本日の会議を開きます。

諸般の報告は、お手元に配付してあります議長報告のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

議 長 報 告 (朗読省略)

一、十月十八日、知事から次の議案等が提出された。また、下段のとおり関係委員会に付託した。

(付託委員会)

- (1) 認定第三号 令和二年度秋田県歳入歳出決算の認定について
- (2) 報告第七〇号 令和二年度秋田県一般会計等の継続費の精算報告
- (3) 報告第七一号 令和二年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- (4) 報告第七二号 交通事故に係る和解及び損害賠償の専決処分報告
- (5) 報告第七三号 道路事故に係る和解及び損害賠償の専決処分報告
- (6) 報告第七四号 道路事故に係る和解及び損害賠償の専決処分報告

一、十月八日、監査委員から、令和二年度の財務に関する事務の執行状況について監査結果の報告があり、十月十一日、各議員に配付した。

一、十月十一日、秋田県人事委員会委員長から、地方公務員法第八条、第十四条及び第二十六条の規定に基づき、職員の給与等について報告及び給与の改定について勧告があり、十月十二日、各議員に配付した。

監査報告書

登載省略

●議長（柴田正敏議員） 議事に先立ちまして、去る十月十日に執行された秋田県議会議員の補欠選挙で当選されました新議員を紹介いたします。仙北市選挙区で当選されました高橋豪議員を紹介いたします。

【新議員（高橋豪議員） 議場中央に進み一礼、「ただいま御紹介をいただきました仙北市選挙区の高橋豪でございます。議長はじめ先輩議員の皆様から御指導いただきながら、精いっぱい県民の方々のために頑張っております。何とか今日からよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます」

す。」と述ぶ】

(拍手)

●議長（柴田正敏議員） 以上で紹介を終わります。

日程第一、議席の一部変更の件を議題といたします。

お諮りします。議席の一部を、お手元に配付の議席表のとおり変更することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（柴田正敏議員） 御異議ないものと認め、そのように決定いたします。

次に、日程第二、議席の指定を行います。

高橋豪議員の議席は、秋田県議会会議規則第四条第二項の規定により、四番に指定いたします。

次に、日程第三、常任委員選任の件を議題といたします。

お諮りします。四番高橋豪議員は教育公安委員に選任することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

議長（柴田正敏議員） 御異議ないものと認めます。四番高橋豪議員は教育公安委員に選任されました。

日程第四、知事の説明を行います。知事の発言を許します。

【知事（佐竹敬久君）登壇】

●知事（佐竹敬久君） おはようございます。

このたび提案いたしました議案の説明に先立ち、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、去る四日、退任されました菅前総理におかれましては、コロナ禍における困難な状況の中で、国政の行く末を深く憂慮され、辞任を決断されたものと推察いたしており、無派閥ゆえに党内事情に配慮した政権運営を余儀なくされたことに加え、国民に政策の意図が十分に伝わらなかつたことは残念であったと思っております。

しかしながら、脱炭素化に向けたグリーンイノベーション基金の造成や省庁横断的に政策を推進するデジタル庁の設置、最低賃金の過去最高となる上げ幅の実現、さらには社会保障に対する若者の負担軽減を図るための高齢者の医療費二割負担など、我が国の未来を見据え、変革の端緒を切り拓くとともに、生活に身近な分野では、携帯電話料金の引き下げや公立小学校における三十五人学級の導入、不妊治療への保険適用に道筋を付けたほか、「自由で開かれたインド太平洋」構想に向けた各国との信頼関係の構築など、国際的にも日本の存在感を示し、約一年という短い在任期間にあつても、多くの実績を残されました。

新型コロナウイルス感染症対策については、ワクチン接種において地方自治体との意思疎通に若干配慮が不足した面があつたものの、結果的

には現時点で先進国の中でも高い接種率になるなど、国民の命と暮らしを守り抜くとの決意のもと、最後まで重責を果たされました。

また、常日頃よりふるさと秋田のことを気に留められ、お心配りをいただくとともに、多岐にわたる要望の実現に御尽力くださるなど、これまでの御厚意に対し深く感謝しており、今後とも本県の発展にお力添えを賜りますようお願いいたします。

次に、県関係者の副大臣就任についてであります。

このたびの組閣において、富樫博之氏が復興副大臣に就任されましたことを、心よりお祝い申し上げます。

富樫副大臣におかれましては、豊富な経験を生かし、東日本震災からの速やかな復興と被災地の自立に向けた支援に取り組み、東北の発展を牽引されることを御期待申し上げますとともに、引き続き県政の推進に御協力くださいますようお願いいたします。

次に、国政を巡る状況について申し上げます。

岸田新総理は、臨時国会における所信表明演説において、国民からの信頼と共感が得られる政治を掲げ、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトに、「新しい資本主義」の実現に向けて取り組んでいくことを表明されました。

経済の再生や感染症への対策など我が国が直面する諸課題への迅速な対応はもとより、厳しさを増す国際情勢も見据えながら、食料やエネルギー、国土保全、防衛等の国家としてのベーシックな問題への対策の具現化を目指し、リーダーシップを発揮されるとともに、デジタルインフラの整備や農林水産業の振興など地方が希望と活力を持てる取組を推進されることを期待しております。

また、今月末に行われる総選挙においては、更なる感染拡大に備えた医療体制の強化策や実効性のある経済対策などが大きな争点になるものと考えており、地方の声を国政に反映させるため、全国知事会では、主要な各政党に対し、こうした対策をはじめ、地方税財源の充実・強化や

地方創生の実現、少子化対策などを選挙公約に盛り込んでいただくよう提言を行ったところであります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応について申し上げます。

政府は、ワクチン接種の進展や中和抗体薬の開発などにより、重症者数や死者数が低く抑えられ、高齢者の感染の割合も低下していることから、先月末、およそ半年にわたり継続していた緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の全てを解除するとともに、今後は、次の感染の波に備えながら、段階的に制限を緩和し、感染対策と日常生活を両立させることを基本に政策を展開していくことを決定しております。

本県においても、先般の新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、県独自の感染警戒レベルを三に引き下げたところであり、ここに至るまでの県民の多大なる御協力と医療現場を支えていただいた医療従事者の御尽力に対し、厚く御礼を申し上げます。

県としましては、今後の急激な感染拡大に備え、必要となる病床の確保に加えて、今週、県南においても宿泊療養施設の運用を開始するなど、患者の受入体制を強化するとともに、この夏の第五波の経験を踏まえた新たな「保健・医療提供体制確保計画」を策定し、コロナ医療と一般医療の両立を図りつつ、陽性確認前から回復まで切れ目なくコロナ患者に対応可能な体制を整備してまいります。

また、ワクチン接種については、希望者全員の二回目の接種終了と三回目の接種開始に向けて、市町村をしっかりとサポートしていくほか、感染拡大により大きな影響を受けている事業者等を速やかに支援するため、県内飲食店等に対する支援金の支給や飲食店認証制度の周知などの取組を強化してまいります。

今後、行動制限の緩和等により、県外との往来が大幅に増加することが見込まれるほか、新たな変異株の流入やインフルエンザとの同時流行も懸念されることから、県民の皆様には、ワクチン接種後においても、マスクの着用や手洗い、換気など感染防止対策の徹底を引き続きお願い

いたします。

次に、秋田米新品種「サキホコレ」のプレデビューについて申し上げます。

「サキホコレ」の生育は、天候に恵まれたことに加え、生産者のきめ細かな管理と関係者の的確な指導により順調に推移し、これまでのところ、全量が一等米で品質の高い米が生産されており、幸先の良いスタートを切ることができました。

今後は、来月六日に東京と秋田で開催予定のキックオフイベントを皮切りに、全国一斉に先行販売を開始するとともに、県内外においてキャンペーンを実施し、来年の本格デビューに向けて、認知度向上とブランドイメージの確立に努めてまいります。

次に、認定をお願いいたします令和二年度秋田県歳入歳出決算について申し上げます。

一般会計歳入総額は六千九百六十億一千二百四万円、歳出総額は、六千七百八十四億一千二百四十三万円となり、事業繰越財源を差し引いた実質収支は、百三十二億三千六百四十七万円の黒字となりました。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大の防止と医療提供体制の整備、雇用の維持と経済活動の早期回復に向けた取組など、医療と経済の両面で対策に取り組んだほか、折り返しを迎える第三期ふるさと秋田元氣創造プランの更なる加速化のための施策を重点的に推進し、特に、秋田の将来にとって希望の種となる「未来への投資」を、県内経済の自律的な成長力である「稼ぐ力」への投資、高質な田舎を実現するための原動力である「人」への投資、県民のあらゆる活動の基盤である「健康・安全・安心」への投資の三つの視点から推進したところであります。

よろしく御審議の上、認定いただきますようお願い申し上げます。

●議長（柴田正敏議員） 次に、日程第五、決算特別委員会設置の件を議題といたします。

お諮りします。お手元に配付してありますとおり、令和二年度秋田県歳入歳出決算の認定に関する議案の審査を行うため、委員十一名で構成する決算特別委員会を設置することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（柴田正敏議員） 御異議ないものと認めます。決算特別委員会は設置されました。

次に、決算特別委員会の委員の選任についてお諮りします。決算特別委員会の委員には、島田薫議員、宇佐見康人議員、児玉政明議員、小山緑郎議員、鈴木健太議員、佐藤信喜議員、高橋武浩議員、鳥井修議員、吉方清彦議員、薄井司議員、小野一彦議員、以上のとおり選任することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（柴田正敏議員） 御異議ないものと認めます。決算特別委員会の委員は、ただいまお諮りしましたとおり選任されました。

次に、決算特別委員長及び同副委員長の選任についてお諮りします。決算特別委員長及び同副委員長の選任については、議長の指名に一任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（柴田正敏議員） 御異議ないものと認めます。

指名いたします。決算特別委員長には、鈴木健太議員、同副委員長には、吉方清彦議員を指名いたします。

決算特別委員長及び同副委員長は、ただいま指名のとおり選任されました。

お諮りします。決算特別委員会への議案付託の件を本日の議事日程に追加し、直ちに議題とすることに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（柴田正敏議員） 日程は追加されました。

決算特別委員会への議案付託の件を議題といたします。

お諮りします。認定第三号は、決算特別委員会に付託することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（柴田正敏議員） 御異議ないものと認めます。認定第三号は、決算特別委員会に付託されました。

以上で、本日の日程は、全部終了しました。

本日は、これをもって散会いたします。

午前十一時四十七分散会

